

# まち・ひと・しごと久留米を元気に

# 食べて巡って景品ゲット

## 人口30万5000人を維持

国は、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」を施行しました。人口減少に歯止めをかけ、東京圏への人口集中を避けながら地域で住みやすい環境を確保するための政策です。地方の人口が減少すると、経済が縮小し、さらに人口減少を加速させるといふ悪循環をもたらします。

久留米市は、人口30万5000人の維持を成果目標に27年に

第1期の「久留米市地方創生総合戦略」を策定。目標達成のために、①安定した雇用の創出、②新しい人の流れをつくる、③若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、④安心な暮らしを守る、⑤広域拠点の役割を果たす、を基本目標に定めて、計画を進めてきました。

## オール久留米で取り組む

令和2年度から第2期地方創生総合戦略がスタート。第1期の総合戦略の基本目標を維持しながら、成果や状況を踏まえて策定。平均所得の向上につながる事業、オール久留米で取り組む事業、国・県の支援策を積極的に活用する事業をまとめた政策が中心です。事業の進行状況を検証するため、重要業績評価指標を設定します。今後、策定を進め市民の皆さんにも幅広く参画してもらうために、1月下旬にパブリックコメントを実施します。原案は総合政策課、本庁舎1階行政資料コーナー、各総合支所、各市民センターなどに準備します。

◎創生戦略推進室（総合政策課内、☎0942・30・9116、FAX 0942・30・9703）

市ホームページ  
まち・ひと・しごと  
創生総合戦略  
詳しくは  
QRコード  
へ

## 麵からスイーツまで一堂に

久留米産の農産物をおいしく食べて、知ってもらうため市内の飲食店やホテルなど16店舗が自慢の料理を提供する「くくるめグルフェア」を開催します。



久留米野菜のバーニャカウダ

あまおうタルト

久留米市は、筑後川と耳納連山に育まれた豊かな大地に恵まれ、米麦大豆、野菜、果樹、種苗苗木類、花卉、畜産など多くの品目が生産されています。平成29年の市町村別農業産出額は325億円、全国で25位、県内1位の農業都市です。

参加店舗は久留米の農産物を使ったタルトや中華料理、てんぷらなどを提供します。対象メニューを食べて集めるスタンプラリーを実施。5個集めて応募すると、5000円相当の農産物セットが抽選で当たります。

■期間 1月24日(金)から3月8日(日)まで

■応募方法 スタンプ台紙に住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、参加店の回収箱に入れるか、問い合わせ先に郵送してください。

い。郵送は3月10日(火)（消印有効）まで

■景品 久留米市管内五つの農協で採れた旬の農産物セット20本

◎市農産物販売力強化推進協議会（農政課内、☎0942・30・9163、FAX 0942・30・9717）

市ホームページ  
くくるめグルフェア  
詳しくは  
QRコード  
へ

## 久留米市美術館

とき・ひと・美をむすぶ

KURUME CITY ART MUSEUM  
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

市美術館のイベントや所蔵品などを紹介します。



多くの来館者でにぎわう市美術館

### 美術館の入館者が開館後 30 万人を突破

平成 28 年 11 月、石橋美術館としての歴史と伝統を受け継ぎ、公立美術館として晴れやかにオープンした久留米市美術館がこのほど 3 周年を迎えました。開館後、20 もの多彩な展覧会を開催し、この 3 年間で 31 万 5000 人と、多くの皆さんが来館しました。27 年度から進めてきた美術品の収集点数も、116 点に上っています。

石橋文化センター園内という恵まれた立地条件を生かし、園内全体を一つのミュージアムと捉え、創作活動の場として活用するアートフェスティバルや、石橋文化ホールでのミュージアムコンサートなど、新たな取り組みも積極的に進めてきました。

これからも、「とき・ひと・美をむすぶ美術館」というビジョンのもと、市民の皆さんに親しまれる美術館を目指していきます。 【美術館館長：橋原利則】

◎久留米市美術館  
☎0942・39・1131、FAX 0942・39・3134

### 開催中の展覧会

熊谷守一  
Cherishing All Lives  
いのちを見つめて

1月13日(日)まで

## 久留米シティプラザ

子どもたちと、まちと、文化の明日を元気にする



シティプラザのイベントや舞台裏などを紹介します。



昨年 2 月に行われた桃月庵白酒独演会

### 久留米座の落語は格別

たった一人で物語を紡ぎ、たくさんの笑いや涙を誘う落語。話術や表現の面白さが大きな魅力の一つです。落語家は声の高低や強弱、緩急を変化させ、なまりや口癖などを使い分けながら人物を演じます。表情や動き、しぐさによって老若男女さまざまな役になりきります。扇子は箸やたばこ、筆、刀など多様な物に変化。手拭いを財布に見立てて、懐から取り出せば裕福な身分、首からぶら下げているしぐさだと庶民など、人物像を浮かび上がらせます。

シティプラザの久留米座には落語の舞台になる高座などがあり、布の色や高座の高さを落語家に合わせて工夫しています。観客の皆さんからも、また演者さんからも好評です。

3月1日(日)に桃月庵白酒の独演会を開催します。詳細はシティプラザのホームページに掲載。

◎久留米シティプラザ  
☎0942・36・3000、FAX 0942・36・3087